

資料提供

令和5年4月28日(金)  
照会先: 保健医療部感染症対策課 疫学G  
担当者: 課長補佐 大芦  
連絡先: 029-301-3233 (内線: 3280)  
19時以降 090-4941-9035

麻しん(はしか)患者の発生について

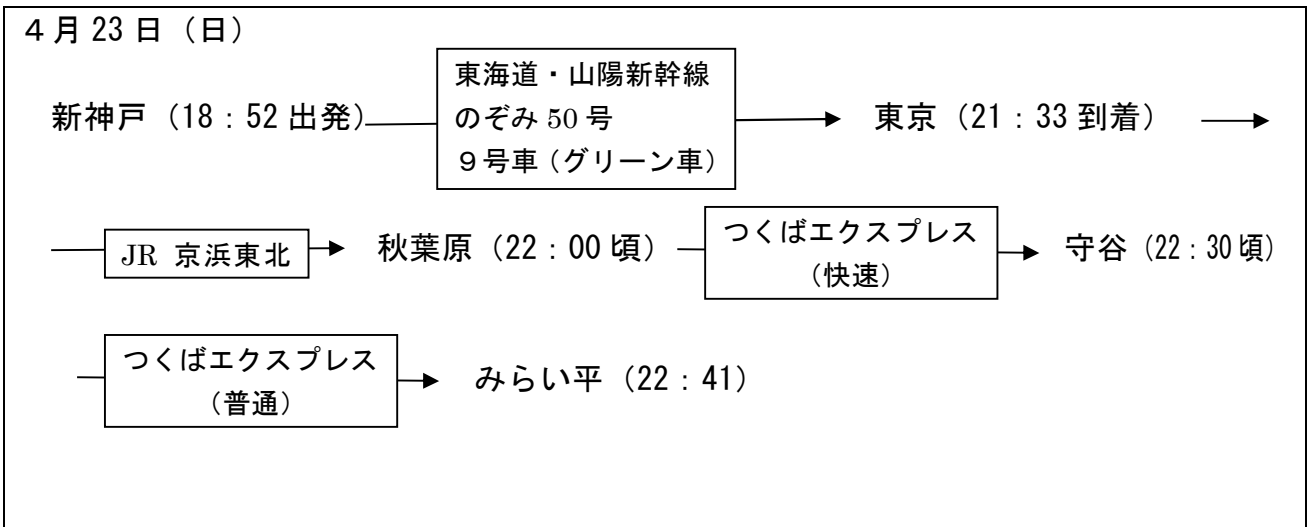
4月27日、海外渡航歴のある県内居住者の麻しん陽性が確定しました。患者は、自宅療養中で、快方にむかっています。

患者の行動や接触者について、調査したところ、周囲へ感染させる可能性のある時期に、不特定多数の人が利用する施設を利用していたことが判明しました。

当該施設を感染の可能性がある日時に利用された方は体調に注意し、利用後10日前後経ってから、発熱・発疹等、麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡の上、保健所の指示に従い医療機関を受診してください。また、受診の際は、周囲の方への感染を広げないように、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を避けてください。

※麻しんの潜伏期間は、約10~12日間(最大21日間)で、麻しん患者と接触した場合には、接触後3週間(21日間)注意が必要です。

【感染性のある期間に患者が利用した公共交通機関と区間】



【麻しん患者が利用し、接触者を特定できない施設】

| 感染の可能性のある日時※           | 施設名等                   | 所在地         |
|------------------------|------------------------|-------------|
| 4月24日(月)<br>8:50~18:50 | JA とりで総合医療センター<br>(外来) | 取手市本郷2丁目1-1 |

※ 本事例に関わる当該患者の受診医療機関における接触者については、保健所及び医療機関において、対象者の健康観察を実施しています。

※ 接触早期には、緊急ワクチン・免疫グロブリンの投与により発症を防止できる可能性もありますので、医療機関にご相談ください。

### 【患者の概要】

- 1 患者の概要：30歳代（男性）、つくばみらい市在住（日本国籍）  
麻しん予防接種歴1回
- 2 症 状：発熱、発疹、咳、下痢
- 3 経 過 等：
  - 4月14日 インドから帰国
  - 4月21日 発熱、咳嗽 神戸市に移動
  - 4月23日 発疹が出現 神戸市から移動
  - 4月24日 発疹継続のため、JAとりで総合医療センターを受診。
  - 4月26日 同医療機関から竜ヶ崎保健所へ検査依頼あり。
  - 4月27日 県衛生研究所の遺伝子検査で麻しん陽性と判明し、発生届あり。  
症状軽快し、退院。

患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

### 【茨城県感染症情報センターホームページURL】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

○ 麻しん（はしか）とは  
原 因：麻しんウイルス  
潜伏期間：約10～12日間（最大21日間）  
症 状：感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱と共に発疹が出現すると言われている。  
治 療：特異的な治療法はなく、対症療法。  
感染経路：空気感染、飛沫感染、接触感染で感染力は非常に強いと言われている。  
感染症法：五類感染症、全数把握疾患（診断を行った医師は保健所に届け出ることになっている）  
予防方法：ワクチン接種  
抗体保有率：十分な免疫が獲得されていれば発症が予防されると言われている。本県の抗体保有率は2020年の調査で93.5%。

### － 県からのお願い －

#### ○ 県民の皆様へ

- 1 麻しんは、有効な治療方法がなく、予防する唯一の手段はワクチン接種です。  
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていないお父さんは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。  
また、麻しんに未罹患であり、かつ、麻しんの予防接種を2回接種していない方は、予防接種を受けましょう。
- 2 症状から麻しんが疑われる場合、必ず事前に保健所に連絡のうえ、保健所の指示に従って医療機関を受診してください。受診の際は、周囲の方へ感染させないように、マスクを着用し、公共交通機関等の利用を避けてください。  
また、麻しんにかかった（検査で診断された）ことがない方が海外渡航する時には、渡航先の流行状況を確認するとともに、麻しんの予防接種歴を確認し、2回接種していない場合、又は接種既往が不明の場合には予防接種を受けることをおすすめします。

#### ○ 医療機関の皆様へ

発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴の確認等、麻しんの発生を意識した診療を行うとともに、臨床症状等から麻しんと診断した場合には、速やかに保健所に届出をお願いします。  
また、患者（疑い含む）は個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策の実施についても併せてお願いいたします。

【参考】

麻しん患者発生状況（全国値：2023. 4. 21 現在（14 週））

（単位：人）

|     | 2018 年 | 2019 年 | 2020 年 | 2021 年 | 2022 年 | 2023 年 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全 国 | 282    | 659    | 10     | 6      | 6      | 3      |
| 茨城県 | 3      | 17     | 0      | 0      | 0      | 1(※)   |

※今回の事例を含む。

《県内保健所連絡先》

中央保健所 : 029-241-0100  
ひたちなか保健所 : 029-265-5515  
日立保健所 : 0294-22-4188  
潮来保健所 : 0299-66-2114  
竜ヶ崎保健所 : 0297-62-2161

土浦保健所 : 029-821-5342  
つくば保健所 : 029-851-9287  
筑西保健所 : 0296-24-3911  
古河保健所 : 0280-32-3021  
水戸市保健所 : 029-350-7650  
(8:30~17:15)